

# 東北地方 1か月予報

(8月27日から9月26日までの天候見通し)

平成17年8月26日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

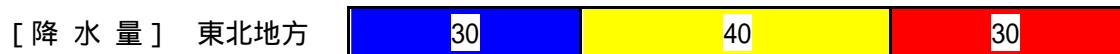
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

期間のはじめは高気圧に覆われて晴れの日が多いですが、その後は前線や気圧の谷の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並か高い、2週目は平年並、3~4週目は平年並か高いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 8月27日(土) ~ 9月26日(月)

1週目 : 8月27日(土) ~ 9月2日(金)

2週目 : 9月3日(土) ~ 9月9日(金)

3~4週目 : 9月10日(土) ~ 9月23日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月2日

3か月予報:9月22日(木) 14時00分

寒候期予報:9月22日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	20.0	243.2	125.6	22.0	20.9	19.1
新庄	20.0	168.6	124.1	22.5	21.1	18.9
若松	20.9	141.8	140.9	23.5	22.1	19.7
深浦	19.9	183.7	163.6	21.9	20.8	18.9
青森	19.7	132.9	167.8	21.8	20.7	18.7
むつ	18.7	185.8	146.8	20.6	19.6	17.8
八戸	19.3	183.6	148.7	21.2	20.2	18.5
秋田	20.8	194.5	165.8	23.1	21.8	19.7
盛岡	19.2	181.3	129.2	21.7	20.3	18.1
宮古	19.3	241.4	129.4	21.2	20.1	18.4
酒田	21.3	202.1	161.6	23.5	22.3	20.3
山形	20.7	152.7	138.4	23.2	21.8	19.5
仙台	21.1	227.4	125.6	23.1	22.0	20.1
石巻	20.6	173.0	140.7	22.6	21.6	19.7
福島	21.6	177.9	121.9	24.0	22.7	20.5
白河	19.9	242.2	120.1	22.2	21.1	18.8
小名浜	21.9	207.9	149.3	23.6	22.8	21.1

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.4	85~114	95~107
東北日本海側	-0.6~+0.5	85~109	95~108
東北太平洋側	-0.5~+0.3	84~117	91~109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.7	-0.8~+0.7	-0.4~+0.4
東北日本海側	-0.7~+0.8	-0.8~+0.7	-0.5~+0.3
東北太平洋側	-0.6~+0.8	-0.7~+0.7	-0.5~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成17年8月26日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月27日~9月26日):

期間のはじめは高気圧に覆われて晴れの日が多いですが、その後は前線や気圧の谷の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(8月27日~9月2日):

明日(27日)は気圧の谷の影響で、東北日本海側北部を中心に雨の所がありますが、その後は高気圧におおわれて、おおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(9月3日~9月9日):

前線や気圧の谷の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(9月10日~9月23日):

前線や気圧の谷の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

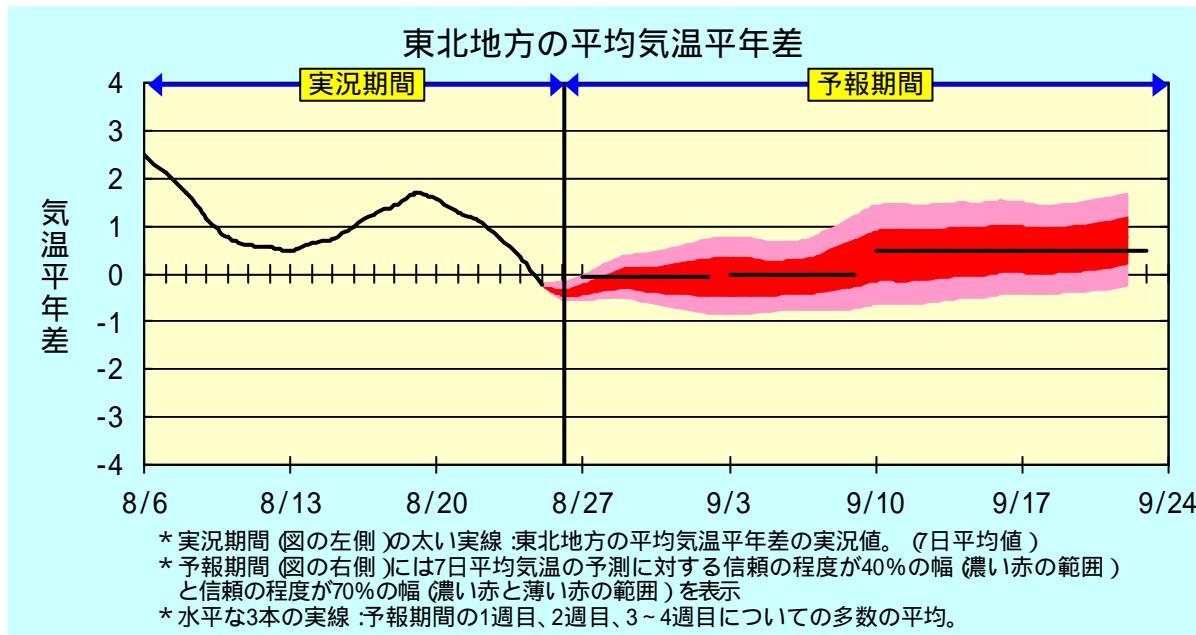
## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.0日	3.9日	3.4日	6.7日
東北太平洋側	12.2日	3.4日	2.8日	6.0日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目は「平年並」、3~4週目は「高い」と予測している。予報はその他の資料から、1週目と3~4週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

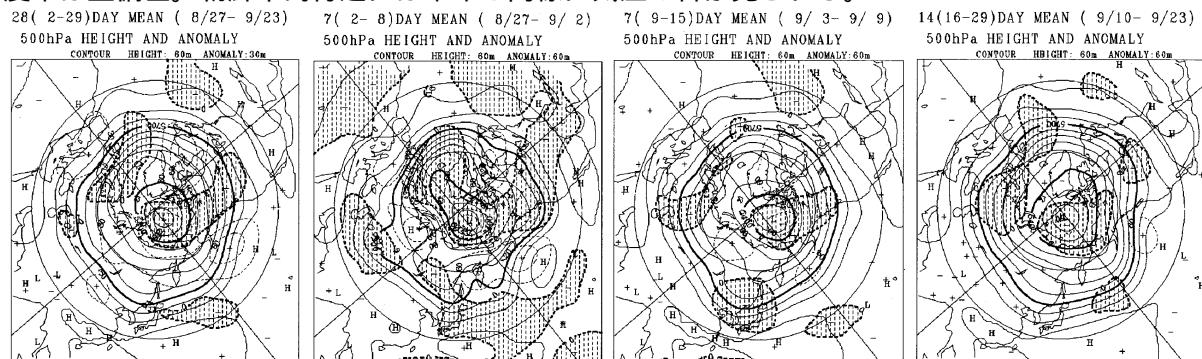


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、シベリアから太平洋北部にかけての高緯度帯で正偏差、北日本の東海上で負偏差。朝鮮半島付近には平年と同様に気圧の谷が見られる。太平洋高気圧の北への張り出しが平年並程度。

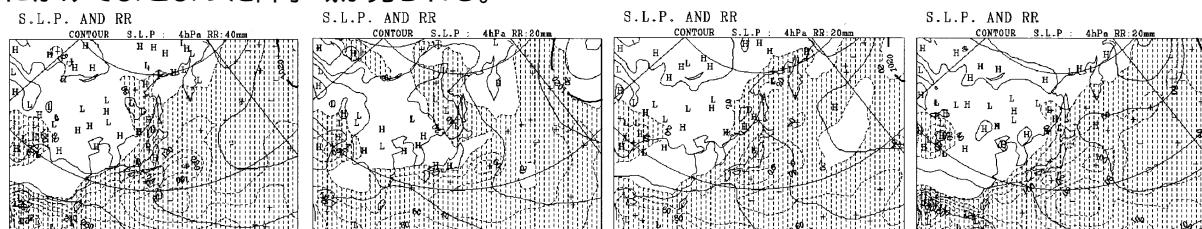
1週目は、シベリアから太平洋北部の高緯度帯で正偏差、日本付近から日付変更線付近にかけて負偏差で偏西風は分流傾向。2週目は、朝鮮半島付近の気圧の谷が深まり日本付近は負偏差。偏西風が平年より南下傾向。また、太平洋高気圧は中国南部へ張り出している。3~4週目は中緯度帯は正偏差。朝鮮半島付近には平年と同様に気圧の谷が見られる。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、まとまった降水域が本州の南海上に分布。オホーツク海高気圧は不明瞭。

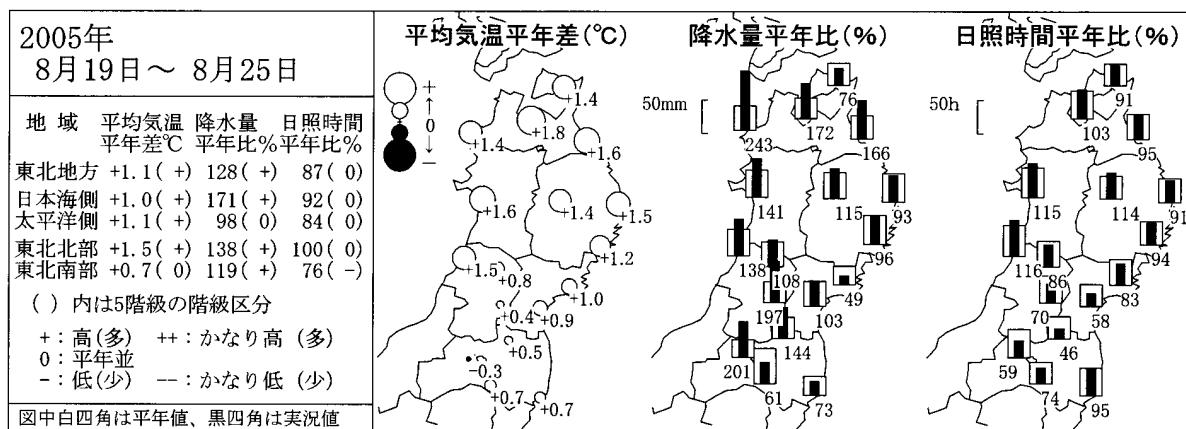
1週目は、本州南海上と北海道付近に東西に伸びる降水域が見られる。東北地方はこの間に位置しており、低気圧や前線の影響は受けにくい。2週目は、本州南海上の降水域は1週目よりもやや北上。東北地方にもややまとまった降水域がかかる。3~4週目は、熱帯域から本州の南海上にかけてまとまった降水域が見られる。



### 4. 最近1週間（8月19日～8月25日）の天候の経過

この期間、前半は前線が日本海に停滞し、それに向かって暖かい南寄りの風が入り気温が上昇した。このため午後は所々で雷雨となった。後半は東北地方の北を高気圧が通過し、東北日本海側では晴れたが東北太平洋側では東寄りの風が入り低い雲に覆われたところが多かった。25日は台風11号の影響で東北南部では雨の降った地域が多かった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)